

2022年（令和4年）の天候と台風のとまとめ（速報）

- 日本の年平均気温は1898年の統計開始以降で最も高い値となる見込みです。
- 台風の発生数は平年並の25個でした。日本への台風の接近数は平年並の11個で、そのうち3個が上陸しました。
- 世界の年平均気温は1891年の統計開始以降で、6番目に高い値となる見込みです。

○日本の天候等について（別紙1-1、1-2参照）

- ・ 日本の年平均気温は1898年の統計開始以降で最も高い値となる見込みです（図1）。
- ・ 高温が顕著だった6月下旬には東・西日本で、7月上旬には北日本で、1946年の統計開始以降、当該旬として1位の記録的な高温となりました。¹
- ・ 前年12月から2月は東・西日本では低温となりました。日本海側を中心に大雪となり、最深積雪は全国331地点中12地点で記録を更新しました。²
- ・ 8月は梅雨前線や湿った空気の影響を受け北・東日本で不順な天候となりました。東北北部・南部と北陸地方では梅雨明けが特定できませんでした。
- ・ なお、日本の天候と互いに影響しあう日本近海の年平均海面水温は1908年の統計開始以降で2番目に高い値となる見込みです（図2）。

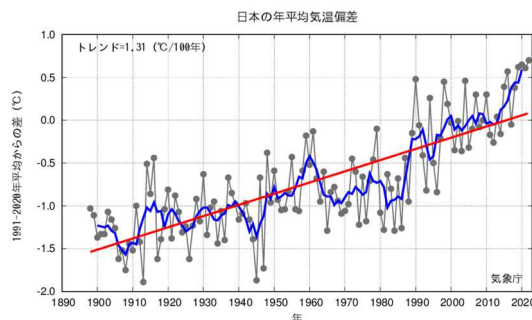


図1 日本の年平均気温の経年変化（1898～2022年）。1991～2020年の30年平均値からの偏差で表示。2022年は1～11月の期間から算出した速報値。

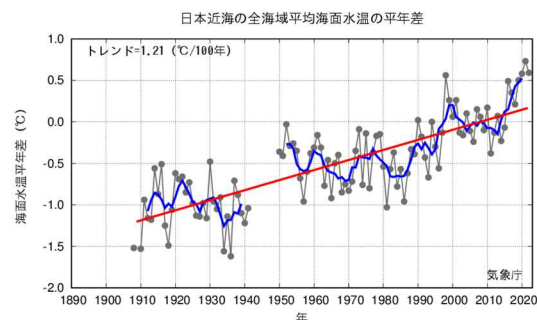


図2 日本近海の年平均海面水温の経年変化（1908～2022年）。1991～2020年の30年平均値からの偏差で表示。2022年は1～11月の期間から算出した速報値。

¹ 令和4年度 異常気象分析検討会（第1回）資料に要因を掲載。
https://www.data.jma.go.jp/extreme/kaigi/2022/0822/r04_1st_kentoukai_202208.html
² 令和3年度 異常気象分析検討会（第2回）資料に要因を掲載。
https://www.data.jma.go.jp/extreme/kaigi/2022/0311/r03_2nd_kentoukai_202203.html

○台風について（別紙2参照）

- ・ 台風の発生数は平年並の 25 個でした。
- ・ 日本への台風の接近数は平年並の 11 個で、3 個が上陸しました。
- ・ 台風進路予報の精度は年々の変動がありますが、長期的にみれば向上しており、3 日先から 5 日先の進路予報の年平均誤差は、予報を開始してから最も小さい値となりました（図 3）。

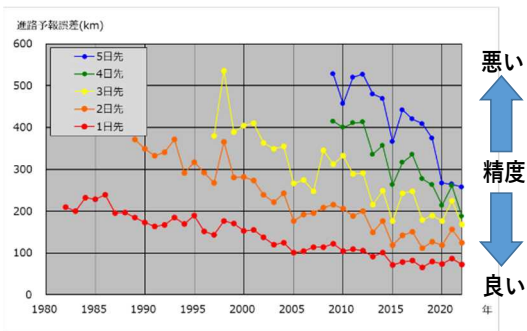


図 3 台風進路予報誤差の経年変化（第 15 号～第 25 号は速報値）

○世界の天候について（別紙3-1、3-2参照）

- ・ 中緯度帯を中心に異常高温が発生し、各国の月平均気温や季節平均気温の記録更新が伝えられました。世界の年平均気温は、1891年の統計開始以降で、6 番目に高い値となる見込みです（図 4）。
- ・ フィリピンの台風（4、10 月）、南アフリカ南東部の大雨（4 月）、パキスタン及びその周辺の多雨（7～8 月）等により、多数の死者を伴う災害が発生しました。

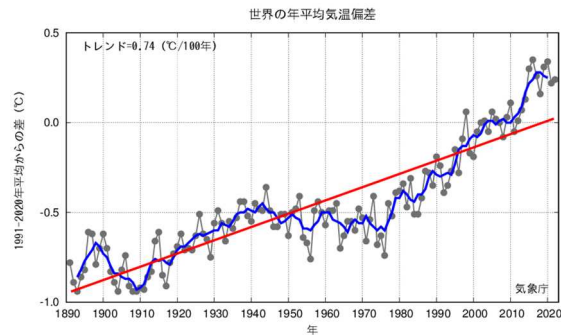


図 4 世界の年平均気温の経年変化（1891～2022 年）。1991～2020 年の 30 年平均値からの偏差で表示。2022 年は 1～11 月の期間から算出した速報値。

本資料は、日本の天候については 2022 年 12 月 20 日まで、台風については 12 月 22 日まで、日本と世界の平均気温、日本近海の海面水温及び世界の天候については 11 月までの状況を速報としてまとめたものです。確定値に基づく情報は、2023 年 1 月以降、気象庁 HP において順次公開します。

内容に関する問合せ先：電話 03-6758-3900（代表）

- ・ 日本の天候等について
 - （日本の年平均気温）気候情報課 平井（内線 4542）
 - （各地の観測データや統計）観測整備計画課 村井（内線 4268）
 - （天候の要因）気候情報課 楳田（内線 4546）
 - （日本近海の年平均海面水温）環境・海洋気象課 根本（内線 4691）
- ・ 台風について
 - 気象リスク対策課アジア太平洋気象防災センター 吉松（内線 4232）
- ・ 世界の天候について
 - （世界の年平均気温）気候情報課 平井（内線 4542）
 - （世界の主な異常気象・気象災害）気候情報課 佐藤（内線 4548）